

1 参加者 学校協議会委員 5名, 校長, 学校事務局 6名

2 報告概要

① 平成29年度学校経営計画

《全体説明》

平成28年度との変更点及び追加点を中心に全体説明

《進路指導関係》

平成28年度の進路結果は概ね例年並み。但し、5大学(関関同立近)合格者は微増しています。また年々一人あたりの受験校数が増加傾向にあります。

3点チェック(=生活と学習の記録):生徒が毎朝、「起床・自宅学習開始・就寝時刻」を教室で記入し、毎月曜日に1週間分の記録を進路指導部へ提出しています。

この取組みで確実に自宅学習する生徒が増加したと思います。時間の使い方を振り返る生徒も増加しました。

クリティカル・シンキング:39期生(現3年生)が昨年度使用した論理的思考力向上のための教材を現1,2年生で使用しています。1年生は「総合学習」、2年生はSHRで行っています。

《教務関係》

本校で実施している「少人数授業(=40名未満授業)」は、3種類-①少人数習熟度別講座(1年生 数学I, 英語表現I, 2年生 数学B, ECII):生徒の学習状況に応じ、生徒の数学への意識向上や英語での対話力、課題設定等を意識しながらきめ細やかな授業を行っています。また年度途中で1~2回の講座変更も行います。②ティーム・ティーチング(1年生 情報):片方の教員がメインで授業を行い、もう1名が生徒の個別指導を行います。③その他:3年生の各種選択授業は、結果として少人数対応となっており、きめ細やかな指導を心がけています。

《授業研修》

昨年度はプロジェクター等を使用している授業について、教科の枠を超えて見学し、研修を行いました。

今年度は次の2点を中心に授業研修を行う予定です。①全教員が初任者の授業を見学し、また初任者が全教員の授業を見学する。②転勤者の授業を見学し、授業法、内容等を検討する

《統一的指導》

今年度より学年毎に「指導計画(=目線合わせ表)」を作成し、当面の指導目標を明らかにし、各分野での「指導テーマ」を示しました。今までそれぞれの教員が指導していた事項を学校、学年としてまとめて明らかにし、統一的に生徒を指導するために教員の目線合わせを始めました。

《生活指導》

昨年度の遅刻者数はトータルで3000件を下回りました。同一学年の年度比較では減少傾向ですが、各期生の経年変化(例:39期生の1,2年時の比較等)では、やはり増加傾向にあります。

最近の問題、課題は通学マナー(自転車や徒歩)です。昨年度は警察にも協力依頼し、指導しました。今後、自転車通学マナー向上のための指導を強化する予定です。校外での規範意識向上が求められています。

《部活動・体育大会関係》

今年度5月現在の部活動加入率は約80%です。昨年度より5%下がっています。

原因として、今年度1年生男子の加入率が低い。そして昨年度1年生男子も加入率が低かった上に、この1年間で一定数の退部者が出て、さらに加入率が下がったためです。

1年生男子の加入率が2年連続で低い原因を明らかにする必要があると考えています。

《海外研修》

先日のPTA総会で正式に「国際交流事業委員会設置要綱」が承認されました。

4月に行った「海外研修説明会」には、76組の生徒・保護者の参加がありました。なるべく参加希望者を連れて行きたいと考え、2コース募集を行いました。

結果として「パース」へは15名、「シドニー郊外」18名という参加者数でした。現在は「参加者説明会」終了し、各種書類提出の段階です。付添教員も確定しています。

また、事前指導も6月より実施します。

② 学校経営推進費事業：「刀根山・里山活用プロジェクト～人を育てる拠点として～」

本プロジェクトでは3年計画で、多くの本校生が裏山の環境保全活動や防災活動などへの取組みを通して地域の人々や大学などとの交流を深め、その活動を通して様々な学問への興味や進路意識を高めることをめざしています。

一年目の昨年度は、裏山のスロープ改修、案内マップ作成・配布、樹木名プレート設置などの環境整備を進めました。

また裏山に生息する昆虫や植物の調査や実習を本校生が大学教員や学生とともに4回実施しました。地域の人々と里山文化体験（干し柿づくりや春の七草、芋煮会等）や裏山環境保全活動（裏山一斉清掃等）も行いました。さらに本校生対象に「裏山に関するアンケート」、他校の取組みや研究施設視察等も行いました。

このように地域の大人や子供そして大学生等と本校生が「斜めの関係」で接し、その中で色々な刺激を受け、自尊感情や進路意識を高めることを本プロジェクトの大きな目標としています。

二年目の今年度は、“より多くの生徒の参画”です。その為にはクラス・クラブ・生徒会・環境委員会などの単位や授業での「裏山活用」を進めていく必要があります。

③ 「刀根山 夢の扉プロジェクト～Dining Hall から Dream-chasing Hall へ～」

今年度の「学校経営推進費事業」にエントリーしました。残念ながら二次選考でダメでした。食堂をリニューアルし、単なる「食べる場所」から「学び、教え、語らい、繋がるための場所」へ変貌させ、「社会人として必要で基礎的な力」を育成し、生徒の希望する進路実現を支援する取組みです。

具体的には、自習室として開放、進路に関するミニライブラリー設置、互いに教えあう場、授業やHRでのグループワークの場、さらには地域や大学関係者との触れ合いの場とし、学習のモチベーション高揚につなげる等を行うプロジェクトです。

今後は、同窓会と協議しながらこの企画を実施したいと考えています。

3 協議概要

《「刀根山 夢の扉プロジェクト～Dining Hall から Dream-chasing Hall へ～」》

- ・食堂へのエアコン設置は考えていますか。

食堂は夏暑く、冬寒いので、ぜひ設置したいです。至急に同窓会と相談したいと考えています。

- ・食堂を地域住民が使えるようにとは、考えていますか。

今は考えていません。防犯上、開放するのは難しいと判断します。

日を決めて地域に開放すれば良いのでは。より地域に密着した形になると思います。

- ・大学ではどうしていますか。

やはり防犯上の問題で女子大では、一般開放していません。

《「刀根山・里山活用プロジェクト～人を育てる拠点として～」》

- ・裏山に対する生徒の意識は。

「裏山を活用したことあり」という生徒は多いです。しかし、それは大部分、体育授業や部活動でのことです。

- ・教員の意識は。
体育科では利用してくれています。少ないながらも「裏山の存在」を意識し、本校を選択した者もいます。
- ・府下では、刀根山高校だけに「裏山」があるのですか。
このような形の「裏山」は、本校だけと思います。今後、この裏山活用を支えていく教員の人材育成が必要です。
- ・地域としては、料理、リース作り、染色等の取組みに裏山は必要です。
- ・今後、裏山管理を引継ぐことが大切です。
年1回、生徒と一緒に裏山を整備しています。教員だけでは、整備できません。しかし、植生の知識がないと管理できません。
- ・公民館としても全部は無理なので、現在の取組みをビデオにして少しでも地域として裏山整備に協力して行ければと考えています。
教員の人事面でも努力して、人材を確保する必要があると考えています。
- ・地域住民にも草花に詳しい人がいます。公民館事業を地域住民に詳しく知らせることで、刀根山高校と公民館、分館との連携がさらに高まると思います。
- ・地域のどこにそのような知識や技術を持った人がいるかを、どのようにして知りますか。
地域で協議会を作っているのので、周辺にチラシをまいている。そこに情報を載せれば、繋がりが作れると思います。

《自転車通学》

- ・小学校長からも電話で通学マナーの指導依頼があったと思います。地域でも会合で話題となります。特に道いっぱい広がって走っているのが問題です。
- ・蚩池駅から学校までの通学路の指定は。
数本のルートを通学路として生徒に示しています。
- ・朝、指導する先生たちが道に立っていますが、固まって同じ所に立っているのを見ます。もっと、駅や途中の所というように広がって立った方が、良いと思います。
- ・昨年度は、刀根山公園辺りにも先生たちが、立ってくれました。
- ・大学も通学マナー悪いと、地域より指摘があります。
規範意識を変えるのは、時間がかかるかと思います。
- ・豊中駅付近でも友人とおしゃべりしながら自転車で走って、信号を見落とすのを目撃することがあります。特に学校周辺は坂が多いので、危険です。

《教員》

- ・今年度の新採用教員は、何名ですか。
2名です。しかし採用のピークを過ぎたので、これからは何名配置となるか、分かりません。

《体育大会》

- ・体育大会は地域に公開していますか。
公開していません。保護者と家族のみに公開しています。昨年は400名以上の保護者の方が来校されました。
「見ごたえがある」と言われています。

☆次回、第2回協議会は11月6日（月）午後4時～